

命つなぐ

eye
愛の献眼



献眼者ご芳名

平成18年6月～平成19年4月まで

平成18年

6月	故	相馬	庄八様	魚津市
	故	島田	博司様	滑川市
7月	故	富樫	ツヤ様	中新川郡上市町
8月	故	樋爪	昌子様	南砺市
9月	故	朝田	静様	富山市
	故	平野	はる様	高岡市
	故	野田	満夫様	砺波市
10月	故	吉森	茂樹様	富山市
	故	大勢待	庄作様	黒部市
11月	故	竹内	徳治様	高岡市
	故	野村	俊治様	富山市
12月	故	中瀬	直昭様	魚津市

平成19年

1月	故	藤縄登志	男様	富山市
	故	荒井	せち様	高岡市
2月	故	翁	清一様	富山市
	故	島田	よ志のり様	黒部市
4月	故	野村	清次様	高岡市



—謹んでご冥福を
お祈り申し上げます—

ご献眼頂きました皆様には、6月16日
開催の記念式典の際に厚生労働大臣から
の感謝状を伝達させていただきます。

ごあいさつ

財団法人富山県アイバンク
理事長 高田 眞



富山県アイバンクだよりを発行するにあたり、ひとことご挨拶を申し上げます。日ごろ、皆さまには、献眼啓発のご活動に対し深いご理解とご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

ところで、本誌掲載の「献眼者ご遺族の手記」が、過日、北日本新聞に掲載されていきました。それは、～昨年9月発行のアイバンクだよりに、『最愛のわが子（15歳）を不慮の事故で失った母親の手記が掲載され、息子の目を献眼することにした思いが切々とつづられていました。その手記に胸を打たれた中学校の教諭が授業で朗読、生徒も心を動かされた。そして、教室の全生徒が手紙を書いた。母親から「同じ年令の皆さんに、息子のことを思ってくれる心に救われた。」と感謝の返事がきました。…略…。～という内容のことからでした。

こうしたアイバンクだよりを通じて生徒たちには、生命の大切さ、崇高な献眼の精神、他人を思いやる感動など、道德教育の生きた教材になったことは、たいへん有意義なことと思いました。

今後とも、献眼啓発、献眼登録、献眼提供の活動、並びに道德的な教育の観点においても、本誌の広くご活用をいただきますようお願いを申し上げご挨拶といたします。



財団法人 富山県アイバンク

設立15周年記念大会

献眼でつなげよう 人と人との出会いの輪

命つなく 愛の献眼

西川へレン記念講演

演 題:「大家族～支え愛、見守り愛、励まし愛」

平成19年 6月16日(土) 13:00開場

会場:富山県民会館 **入場無料**

第1部 記念式典 13:30～14:45

第2部 記念講演 15:00～16:30

プロフィール

4世代同居の大家族をきり盛りし、テレビ出演などでも活躍する西川きよし夫人。昭和21年京都生まれ。へレン杉本の芸名で舞台に立ち、西川きよしと結婚。芸能人であり、また、平成16年7月まで政治家であった夫を支え、内助の功をたええられる賢夫人。

米国人の血を受け継ぐ生粋の京都っ子として生まれ、義経の腕をもつ母親の女手ひとつで育てられる。高校一年生の時、テレビで「お笑い劇場」を見て自分もこういう仕事につき、母親に案をさせてあげようと思いつく。勇んで母親に打ちあけるが大反対。しかしその決意は固く高校を中退後、吉本興業に入社。へレン杉本の芸名でデビューするや吉本の看板女優として大活躍。西川きよし氏と大恋愛の末、駆け落ち同然に六畳一間のアパートで結婚生活をスタート。つねに新鮮なおしどり夫婦ふりは「芸能界の雫」として定評がある。きよし氏の努力家・人情家ぶりと並んでへレン夫人の内助の功を讃える人は多い。

著書に『へレンのもう、いや! 多重介護奮闘録』『幸せの鐘がきこえる』『西川へレン&かの子のおいしい和風レシピ』がある。

主催:財団法人富山県アイバンク

共催:ライオンズクラブ国際協会334-D地区

後援:富山県、富山市、財団法人日本アイバンク協会、富山県医師会、富山県眼科医会、富山県善意銀行、富山県社会福祉協議会、日本赤十字社富山県支部、日本尊厳死協会北陸支部、北日本新聞社、富山新聞社、読売新聞北陸支社、中日新聞社北陸本社、朝日新聞社富山総局、毎日新聞富山支局、@FM富山放送局、北日本放送、富山テレビ、チューリップテレビ、FMとやま、ケーブルテレビとやま、ラジオたかおか



財団法人 富山県アイバンク

〒930-0194 富山市杉谷2630

TEL076-434-5710 FAX076-436-0146



財団法人 富山県アイバンク

設立15周年記念大会

献眼でつなげよう
人と人との出会いの輪

入場整理券



記念講演

西川へレン

演題

「大家族～支え愛、
見守り愛、励まし愛」

期日:平成19年6月16日(土) 13:00開場

会場:富山県民会館

主催:財団法人富山県アイバンク

共催:ライオンズクラブ国際協会334-D地区

後援:富山県、富山市、財団法人日本アイバンク協会、富山県医師会、富山県眼科医会、富山県善意銀行、富山県社会福祉協議会、日本赤十字社富山県支部、日本尊厳死協会北陸支部、北日本新聞社、富山新聞社、読売新聞北陸支社、中日新聞社北陸本社、朝日新聞社富山総局、毎日新聞富山支局、@FM富山放送局、北日本放送、富山テレビ、チューリップテレビ、FMとやま、ケーブルテレビとやま、ラジオたかおか

入場無料



財団法人 富山県アイバンク

〒930-0194 富山市杉谷2630

TEL076-434-5710 FAX076-436-0146

※入場整理券が必要です。詳しくはアイバンク事務局にお問い合わせください。 ☎076-434-5710

敬愛なる母へ

中井 一子

真夜中の電話。つい二時間ほど前にいつもと変わりなく電話で話をしていた母が、くも膜下出血で倒れたという父からの悲しい知らせでした。

近くに住む妹と二人で真夜中の高速道路を無我夢中で車を走らせました。一度目の手術で、動脈瘤の破裂をふせぐことができ、翌日の面会ときには話ができて、ほっとしたのもつかの間、その翌日には再び動脈瘤の破裂が起こり再手術。それにも耐えた母でしたが、話をすることもなく三度目の動脈瘤破裂となり、そのときには人工呼吸器をつけられ回復の見込みがないことを主治医から告げられました。

母は、私たちが子供のころ和服の仕立てを仕事としており、いつも家で細かな針仕事をしておりました。私たち姉妹の服もいつも仕立ててくれて、お料理上手で、とてもおしゃれで器用な母でした。細かな仕事をしていても、「お母さんの目はとてもいい目で、視力はいつも1.5だよ」と自慢しており、その頃にも献眼の話聞いた記憶があります。臓器提供意思表示カードができて間もなくの頃だったでしょうか、家に遊びに来た母と一緒にコンビニに置いてあったカードを持ち帰り記入しました。医学の進歩とともに母は人の死や延命治療についても、しっかりとした考えを持っていたように思います。

主治医の先生から回復の見込みがないことを告げられたとき、なんともいえない悲

しみと失望感が押し掛かってきました。散々涙を流し、人工呼吸器で息をしている母をみていた私たちでしたが、何時間かたったとき、いま母にしてあげられることは母の意志を貫いてあげることはないかという気持ちになりました。以前、何かあったら仏壇の中においてある手紙を見てほしいと聞いており、家の仏壇の引き出しを開けると「尊厳死の宣言書」が書き残されておりました。父と妹と私、三人の気持ちは決まりました。その日の夜、師長さんに相談し、命が尽きたときには献眼することとしました。すぐにコーディネーターの方が病院に来てくれて説明を受けました。一晩、人工呼吸器の機械音がなる中、母と過ごし、翌日主治医の先生に母の意思であった無用な延命措置をしてもらうことなく、母はみんなが見守る中、天国へ旅立ちました。献眼の措置が終わった後、師長さんのはから



平成17年11月27日 献眼
故 熊野類子様



いで、コーディネーターの方がエンゼルメイクにより白くなった母の顔をピンク色の顔色に戻してくれて、妹と私も加わりきれいに化粧をしました。まるで寝ているかのような母の顔でした。

今、母の眼は二人の女性の方の光となり、生き続けていると聞きました。どうか69歳という家族にとってはあまりに早い死を迎えた母に代わって、素敵な景色を眺めて、心ゆたかな生活を送ってください。

素敵な生き方をした母をととても尊敬します。今、成人した二人の子供たちに、母が私に教えてくれたように、私もこの子たちに伝えていかなければと思います。母のようになるには、まだまだ勉強不足ですが、すばらしいお手本が心の中に残っていますから、がんばっていきたいと思います。お母さんありがとう！



エンゼルメイク

アイバンクのコーディネーターとして一番神経を使う場面は、ご提供後のお顔です。「ご提供前のお顔とご提供後のお顔は、変わりません」とご説明していますが、病状によっては、まれに眼の周りに内出血等が起こることがあります。富山県アイバンクでのエンゼルメイクの導入は、これらの内出血などの傷を隠すためでした。

しかし、熊野様のご提供の際に、娘さんと共にメイクをさせていただいたことにより、私の意識がかわりました。

「隠すためのメイク」ではなく「癒すためのメイク」

お母様愛用の化粧品を使い、「いつも眉はこんな感じだったね」「口紅はこの色がいいねえ」「髪の毛の分け目はこっちだったね」「いつもこんなふうにご手を重ねていたね」「この着物はお母さんのお気に入りだったね」と、お二人の娘さんがお母さんに語りかけながらメイクが施されました。とても悲しい場面のはずなのに、なんだかとても温かい空気が流れていました。

それ以降、ご提供の際には皆さんに、メイクをさせていただくようになりました。

＜アイバンクコーディネーター 入江真理＞

母のくちぐせ

島田 興治



平成19年2月9日 献眼 故 島田よ志ぬ様

母、島田よ志ぬは、平成19年2月12日満98歳で天寿を全ういたしました。

子供8人の子宝に恵まれ、公務員であった父とともに全国を歩き回りました。

父は退職後60歳で亡くなりましたが、気丈な母は鮮魚店を創業し、子供達の成長を楽しみに日夜働きづめでした。

昭和30年代には鮮魚店と飲み屋を併設し、昭和36年に割烹『しま田』を開業。

何時もお客様の身になって物事を考える。

店の帳場にはいつも厳しく物事を見つめる顔と笑顔を絶やさない姿がありましたし、子供達にもその精神を植え付けました。

献眼は、自分が黒部ライオンズクラブに入会と同時に障害を持った人達に少しでも役立ちたい

とアイバンクに登録。その事を知った母は、「人様のお陰で生かされている」のだと口癖のように良く言っていて、そのようなものがあるのなら自分も役に立ちたいと願い出てくれました。

実は、平成11年4月に亡くなった妻もアイバンク登録者で献眼をさせて頂きました。

先日、アイバンクを通じて移植を受けられた方のご家族からお手紙を頂きました。

65歳の主人が大学付属病院で右目の手術を受け、順調に回復しております。角膜をご提供下さいましたご本人様、ご遺族の皆様にご心から厚くお礼申し上げますとともにこの感謝の気持ちを忘れる事無く日々を過ごして行きたいと思っています。有難うございました。

という内容の手紙でした。

この手紙を早速母の墓前に供え、「ああ、母は生まれ変わって自分たちを見つめているんだなあ」と心新たにしたと同時に、母のくちぐせの「人様のお陰で生かされている」「人のご恩に報いる」この事を改めて実感いたしました。

例え小さな事でも、少しでもお役に立つ事であればこれからも喜んで率先したいと思うこの頃です。また我が家に二人もの献眼者がいる事は誇りに思います。

遺族の手記に感動した15歳の生徒たち

(財) 富山県アイバンク常務理事
岡本 武勇



昨年のアイバンクだよりに、15歳の最愛の息子を亡くした佐藤瑞恵さんの手記が掲載されました。今年1月ごろ、手記を読んで感動した富山市立北部中学校3年担任の鍋島一美先生が「道徳」の授業で佐藤さんの手記を朗読した、生徒たちも感動した、涙ぐむ生徒も居た。生徒たち38人全員が、佐藤さんへ手紙を書いた。そして、2月上旬生徒宛の手紙が届いた。

生徒Aさんの手紙

説明を聞いたとき、私はまず移植される人のことを考えました。献眼される人のこと、眼ぐらい別にいいのではないかと考えていたのです。ですが、佐藤さんの手記を読んで、献眼される方の思いを知りました。

大切な人がこの世から亡くなっても、まだ体の一部は生き続けているということは、遺族にとってうれしい事なのだと分かりました。

手記を読んで、私もいつかドナー登録をしようと思いました。私が死んでも、私の一部が生き続ける。こんなすてきなことはないと思いました。

生徒Bさんの手紙

手記を読んで、私もドナーカードに登録したいと思いました。今まで私は、「移植は怖そう」とか「体をえぐられるのは嫌だ」と思っていました。しかし、人を助けることのすばらしさがこの手記から分かったし、私も、自分が生きた証を残したいと強く思いました。私のように、あなたの手記を読んで「ドナー登録をしよう」と考えた人は多いのではないのでしょうか。

この手記を読んで、私の『死』に対する思いが、がらっと変わりました。

生徒Cさんの手紙

どんな理由であれ、子供が先に逝ってしまうことはつらいことだと思います。

しかし、貴宏君は献眼したことで、今もまだ様々な風景を楽しんでいると思います。そして二人の方の人生を幸せなものにすることができて、きっと喜んでいると思います。命はなくなってしまったけれど、まだこの世界のどこかで貴宏君の眼は生きています。そう思うとなんだか不思議ですが嬉しいですね。

献眼という存在さえ今まで知りませんでした。佐藤さんのおかげで知ることができました。貴宏君の思い出とともに長生きしてくださいね。お元気で。



写真提供：北日本新聞社

継続的な献眼活動

滑川有恒ライオンズクラブ
2006年～2007年 会長 千保 一郎

滑川有恒ライオンズクラブでは、クラブ設立以来、数々の福祉事業を実施、角膜移植、腎臓移植等の登録活動に積極的に関わり、富山県アイバンク設立以降は、例会時にクラブメンバーや家族を対象に勉強会を開催したり、地域の事業所やショッピングセンターなどにアイバンク募金箱の設置運動を展開し、地域の方々に献眼の意識を広めてきました。

2004年には、当クラブメンバーであった故佐々木清隆氏が人生の最後あたり尊い献眼をされ、また2006年には、メンバーの清河氏の親族が、尊い献眼をされました。当クラブの献眼に対する意識が、着実に高まっている成果だと思われます。

さらに今年度は、例会時に井村東司三名誉顧問（アイバンク名誉理事）を講師としてお迎えし、「私とアイバンク」として講演いただき、献眼登録運動をしたところ、新入会員を含め40名の方に献眼登録をいただき、また募金も送金できました。

また、市内のショッピングセンターにおいて街頭献血の際の献眼登録の呼びかけや家族、事業所への献眼登録の呼びかけを積極的に行い、多くの献眼登録者を得ることができました。

今後は、献眼の意志を周囲に伝えていく呼びかけと献眼そのものの知識を、さらに多くの方に知ってもらうよう継続して献眼運動を推進してまいります。



献眼運動に関わって

高岡伏木ライオンズクラブ
2006年～2007年 四献委員長 山 孝之

今一度アイバンクの歴史を顧みて、我が国では1958年に「角膜移植に関する法律」が制定、同年7月16日に施行され、1963年慶応大学眼球銀行、順天堂アイバンクに「あっせん業」認可、1965年「(財)日本眼球銀行協会」を設立、日本初の国際会長、故村上薫ライオンの熱意で各地のライオンズクラブに献眼推進委員会が設置され、1968年には沼津ライオンズクラブが中心となり第一回アイバンク運動推進協議大会が催され、その後全国的に運動が盛り上がったとのこと、先人の弛まぬ努力が苦節40年間に亘り継続をされ、今日在ることに敬意を表する一人である。

アイバンクは角膜の病気の方に角膜を移植して失明を治す仕事である。ライオンズクラブはその仲立ち、意識の発掘、高揚を図る運動をしています。明かりを求めて提供を待ち望んでおられる多くの方々に必要な社会的意義の有る運動を今後も継続することが大切なことと痛感致し、我がクラブも微力ながら取り組んでいる今日であります。

運動を通じ思うことは、善意の方々の登録が有っても、待ち望んでおられる方々が大変に多く、あまりにも待ち時間がかかりすぎることと、費用がかかることが問題であると感じています。この様に思うのは私だけでしょうか？ 今日の社会で善意に頼ることも必要では有ると思いますが、公的医療機関などで少し取り組みを変えることにより大幅な待ち時間の短縮が実現出来るのではと考えます。

現在病院内での取り組みの中で患者さんの主治医が家族に同意を頂き又、事前に患者さんに同意を頂き献体をする例が多数有ります。又法的な拘束が有るのであれば大いに議論をし実現に向け運動することが我々のこれからのアイバンク運動ではないでしょうか???



富山県臓器移植院内コーディネーター委嘱状交付式



椎葉厚生部長より委嘱状を交付



交付式出席の皆さん

去る4月26日富山県庁において富山県臓器移植院内コーディネーターへ委嘱状が交付されました。

臓器移植院内コーディネーターとは？

所属医療機関内において臓器・組織移植の理解を深めるとともに、提供の際のマニュアル作成や患者様の意思を尊重できる体制を整える活動を行っている。

呉西

- ①氷見市民病院
- ②射水市民病院
- ③高岡市民病院
- ④厚生連高岡病院
- ⑤済生会高岡病院
- ⑥社会保険高岡病院
- ⑦北陸中央病院
- ⑧市立砺波総合病院
- ⑨南砺市民病院
- ⑩南砺中央病院



呉東

- ⑪富山県立中央病院
- ⑫富山市民病院
- ⑬富山大学附属病院
- ⑭富山赤十字病院
- ⑮済生会富山病院
- ⑯八尾総合病院
- ⑰かみいち総合病院
- ⑱厚生連滑川病院
- ⑲富山労災病院
- ⑳黒部市民病院
- ㉑あさひ総合病院

県内には21施設48名の院内コーディネーターが活動しています。

★院内コーディネーター紹介★

西



〈厚生連高岡病院〉

昨年8月、臓器・組織の移植の提供に関する委員会発足。マニュアルを作成し、全病棟へ周知しました。

東



〈富山県立中央病院〉

月1回、勉強会を開いて、県移植コーディネーターやアイバンクコーディネーターとの連携強化を図っています。10月には講演会を開催予定。

ご芳志ありがとうございました。

敬 称 略

□寄付者 ご芳名 平成18年6月～19年4月30日

☆一般

富山地鉄サービス株式会社	1,000,000	吉本新一	10,000
匿名希望	1,000,000	豊田耕一	5,000
富山県法人会	150,000	野村豊子	10,000
作村佐智子	10,000	座間味法子	10,000
藤井正義	2,000	水木とも子	10,000
高島哲朗	2,000		

☆ライオンズクラブ関係

ライオンズクラブ奉仕銀行	2,500,000	2R1Zゴルフ大会	100,000
富山ヤクルト販売株式会社(富山LC)	1,000,000	2R2Zゴルフ大会	100,000
メガネハウス(富山水橋LC)	50,000	富山ライオンズクラブ	500,000
寺崎達二(魚津LC)	100,000	富山雷鳥ライオンズクラブ	50,000
吉田康昭(滑川有恒LC)	10,000	富山東ライオンズクラブ	50,000
國分繁昭(高岡LC)	7,000	富山セントラルライオンズクラブ	100,000
多田慎一(高岡中央LC)	150,000	富山平成ライオンズクラブ	100,000
2R1Zガバナー公式訪問	100,000	大山ライオンズクラブ	51,000
2R2Zガバナー公式訪問	100,000	黒部ライオンズクラブ	100,000
2R3Zガバナー公式訪問	100,000	富山西ライオンズクラブ	80,000
1R2Zゴルフ大会	80,000	滑川有恒ライオンズクラブ	10,000
1R3Zゴルフ愛好会	100,000	魚津ライオンズクラブ	11,155

□賛助会員 平成18年6月～19年4月30日

個人会員

☆一般

網 美保子	稲村栄勝	石田ひとみ	東野久子
今村義和	山本尚三	上瀬豊則	宇波喜久男
蓮田カヲル	片山寿夫	水木田鶴子	金井澄子
花崎紀行	河島早苗	飴谷和代	斉藤周子
馬場廣造	澤田朋一	狩野眼科医院	清水英子
岩木松子	函師真弓	松井優子	高木 久
笹島延元	新田正昭	坂森耕一	藤巻篤子
坂森セツ子	本多榮子	大嶋淳子	森田嘉樹
山下 泉	奥村豊明	山本明彦	吉田昭義
大井山淑子	吉森輝夫	中藪實南子	広瀬静子
片口尚志	前澤豊枝	堀 和子	中川正吉
大間知 梢	浜川真理子	浜野 明	中保 昭
浅尾ミサヲ	畑山平八郎	林 とみい	大門閨子
町田スズエ	石坂 昭	高田久栄	谷原 實
小澤正康	林 玲子	松井恵美子	跡治幸子
吉村泰介	宮島さだ子	福呂況子	城川文郎
寺島恵津子	宝田雅子	津根タミ子	室谷好子
荒木昌子	藤川安子	角谷吉昭	澤田壽朗
藤井正義	菊池 清	溝口忠雄	中川吏永子
高島哲朗	山田和枝	船見 洋	杉山春美
村沢啓子	二口清子	坂田美紀子	土倉ミドリ
島 清忠	谷内口正孝	寺沢和美	吉田幸子
七沢政時	桶屋賢二	奥原喜代司	川崎宏機
山本 良	舘 智子	水木秀子	田辺鈴子
下関幸子	石田ひとみ	斉藤周子	山下 泉
藤巻篤子	山本明彦	新田正昭	片山寿夫
森田嘉樹	金井澄子	清水英子	澤田朋一

谷口保孝

☆ライオンズクラブ関係

・富山ライオンズクラブ	笠間 進	河上 寛	
・富山みなとライオンズクラブ	福井 博	渡辺和幸	
・富山平成ライオンズクラブ	伊賀 肇	浅井 勝	五十嵐 務
・富山ちゅうりっぷライオンズクラブ	長勢知子	波岡一子	広野登志子
・八尾婦中ライオンズクラブ	吉田和雄		
・富山神通ライオンズクラブ	林 巖		
・大山ライオンズクラブ	高木義則	岡本武勇	
・富山西ライオンズクラブ	佐賀野昭一郎		
・富山雷鳥ライオンズクラブ	小澤雄一	島谷太郎	梅田清一
	松下栄信	笹倉秀樹	西野義雄
	太田 茂	森 弘	竹原幸市
	清水幸之助	田村敏之	西野義隆
	梅田清一	濱西實治	濱西寛治
・富山東ライオンズクラブ	山本辰男		岡田幸光
・富山いきいきライオンズクラブ	中村政勝		波岡邦夫
・入善ライオンズクラブ			笹倉秀樹

道原英克 市岡義望

・魚津ライオンズクラブ

山林和光 高岸和男
小坂 章 富山 剛
油本 茂 橋本浩八郎
佐々木幹郎 沢井 進
虎谷武道 保里真理子
川上祐子 新浜恵子
小阪愛香 石川雅朗

・高岡古城ライオンズクラブ

若森征雄

・高岡志貴野ライオンズクラブ

法人会員

☆一般

北陸プレハブ輸送株式会社

☆ライオンズクラブ関係

・富山ライオンズクラブ

タイワ精機株式会社
富山スガキ株式会社
宮岸株式会社富山支店
高瀬公認会計士事務所
三友技建株式会社

株式会社押田建設設計事務所
北日本工芸
司法書士藤沢事務所
株式会社タイワ精機
北陸バンドー販売株式会社

・富山東ライオンズクラブ

能瀬金城堂

・富山セントラルライオンズクラブ

・八尾婦中ライオンズクラブ

有限会社藤井産業

・富山昭和ライオンズクラブ

・滑川ライオンズクラブ

・滑川有恒ライオンズクラブ

・入善ライオンズクラブ

株式会社黒東アメニティー公社

・魚津ライオンズクラブ

橋本スポーツ販売株式会社
株式会社丸八

吉崎 実
有限福田設備

・富山雷鳥ライオンズクラブ

中日本電産株式会社

株式会社広野

鎌谷克彦 山崎与四之

・高岡伏木ライオンズクラブ

山下和夫 山 孝之 中山勝儀 芹原良明
瓶谷哲哉 渡邊一三 島 正美 石工 泰
山口清和

・新湊ライオンズクラブ

水越二郎

・砺波ライオンズクラブ

野村謹吉

・となみ東ライオンズクラブ

斉藤譲一

十方設備工業株式会社

株式会社オカダアート

・富山神通ライオンズクラブ

富山県義肢製作所
有限会社富山県義肢製作所

金谷工務店

弘法工業株式会社

・高岡ライオンズクラブ

光ヶ丘病院

・高岡古城ライオンズクラブ

株式会社セイアグリーシステム

・高岡志貴野ライオンズクラブ

富源商事株式会社

・高岡中央ライオンズクラブ

株式会社岩黒製作所

・高岡伏木ライオンズクラブ

(株)マルチ.アクセス.カンパニー 有限会社平野石油店

東光運輸株式会社

丸進商事株式会社

日本海産業株式会社

株式会社ホクジー

有限会社北高運輸

有限会社笹島商事

有限会社山下建築設計事務所

伏木海陸運送株式会社

北陸エンジニアプラスチック株式会社

・小杉ライオンズクラブ

ミユキ化成株式会社

・砺波ライオンズクラブ

宮本デンタルラボラトリー 株式会社ガスコムノムラ

・となみセントラルライオンズクラブ

募金ありがとうございました。

平成18年6月～19年4月

☆一般

ポプラ戸出春日店	4,428
富山大学附属病院眼科外来	3,548
富山赤十字病院眼科外来	11,168
ポプラ富山中屋店	9,423
ポプラ小杉東店	9,556
ポプラ伏木古府店	16,875
福岡町社会福祉大会	7,286
ポプラ小杉インター店	9,671
ポプラ泉ヶ丘店	10,422
片山眼科病院	35,277
大橋眼科クリニック	12,135
カモの会	35,600

柳沢眼科医院	15,858
☆ライオンズクラブ関係	
高岡志貴野ライオンズクラブ	12,937
高岡南ライオンズクラブ	23,869
井村医院 (高岡古城LC)	28,970
氷見ライオンズクラブ	35,000
滑川有恒ライオンズクラブ	3,339
2R3Zチャリティーボウリング大会	79,288
富山病院 (八尾婦中LC)	2,413
富山雷鳥ライオンズクラブ	47,855
富山高志ライオンズクラブ	21,861
朝日町ライオンズクラブ	50,000

平成18年度事業報告

平成18年度の献眼登録者は134名で、開設以来の累計は18,862名となった。
ドナー情報は21件あり、コーディネートを行った結果、16名の方から眼球提供を頂いた。
角膜移植を受けた方は、23名となった。
医療従事者への啓発活動としてアイバンクジャーナルを配付した。
院内コーディネーター連絡会にて提供時の医療機関との連絡を密にした。

- 1月11日：砺波総合病院臓器移植委員会出席（事務局）
12日：監事高瀬氏により平成17年度事業並びに決算報告の監査を受ける。（於事務局）
県立中央病院院内コーディネーター連絡会出席（事務局）
14日：監事港氏により平成17年度事業並びに決算報告の監査を受ける。（於港氏宅）
18日：厚生連高岡病院院内コーディネーター連絡会出席（事務局）
20日：第4回院内コーディネーター連絡会開催（於トリプルワン）
25日：平成17年度県出資法人等運営研修会出席（事務局）
26日：献眼があった。（黒部市）
28日：献眼者のご葬儀に参列（常務理事・事務局）
- 2月 5日：献眼があった。（上市町）
7日：スタッフ会議開催（於アイバンク連絡所）
8日：献眼者のご葬儀に参列（常務理事・事務局）
10日：献眼があった。（魚津市）
12日：献眼者のご葬儀に参列（常務理事・事務局）
15日：砺波総合病院臓器移植委員会（事務局）
16日：県立中央病院院内コーディネーター連絡会（事務局）
22日：理事・評議員会開催（於名鉄トヤマホテル）
- 3月 3日：東海北陸ブロック連絡協議会出席（於石川県）
（理事長・名誉理事・副理事長・常務理事・事務局）
9日：県立中央病院院内コーディネーター連絡会（事務局）
10日：第5回院内コーディネーター連絡会開催（於トリプルワン）
11日：協同組合とやまオムニパーク20周年記念祝賀会にて寄付金を頂いた。（理事長出席）
チーフサポーター講習会出席（事務局）
15日：砺波総合病院臓器移植委員会出席（事務局）
16日：県立中央病院院内コーディネーター連絡会出席（事務局）
17日：富山ちゅうりっぷライオンズクラブ認証10周年記念式典にて寄付金を頂いた。（岡本常務理事出席）
富山赤十字病院脳死下臓器提供シミュレーション出席（事務局）
18日：第13回アイバンクワークショップセミナー出席（事務局）
22日：厚生連高岡病院院内コーディネーター連絡会出席（事務局）
23日：南砺市民病院院内コーディネーター打ち合わせ（事務局）
24日：金沢医科大学臓器提供シミュレーション参加（事務局）
27日：タイフ精機30周年記念式典にて寄付金を頂いた。（理事長出席）
- 4月 5日：院内コーディネーター委嘱状交付式出席（理事長・事務局）
9日：献眼があった。（富山市）
12日：献眼者のご葬儀に参列（常務理事・事務局）
13日：富山雷鳥ライオンズクラブ例会にて講演。（大黒副理事長）
県立中央病院院内コーディネーター連絡会出席（事務局）
19日：砺波総合病院臓器移植委員会出席（事務局）
- 20日：理事会開催（於サンシップとやま）
24日：厚生連高岡病院院内コーディネーター連絡会出席（事務局）
26日：平成18年度年賀寄付金配分決定通知書交付式出席（理事長・事務局）
27日：かみいち総合病院職員研修会にて講演。（事務局）
28日：富山市民病院臓器移植委員会検討会出席（事務局）
- 5月 8日：砺波総合病院臓器移植委員会出席（事務局）
9日：平成18年度第1回院内コーディネーター連絡会開催（於サンフォルテ）
10日：富山西ライオンズクラブ例会にて講演。（大黒副理事長）
11日：県立中央病院院内コーディネーター連絡会出席（事務局）
12日：富山市民病院臓器移植委員会検討会出席（事務局）
16日：ライオンズクラブ奉仕銀行常任委員会出席（野村常務理事）
17日：砺波ライオンズクラブ例会にて講演。（事務局）
18日：砺波総合病院院内第1回研修会にて講演。（事務局）
24日：となみセントラルライオンズクラブ例会にて講演。（事務局）
故献眼者に対する厚生労働大臣感謝状伝達式開催（於県庁特別室）
- 6月 2日：日本移植コーディネーター協議会総会出席（於富山国際会議場）（事務局）
ライオンズクラブ奉仕銀行新旧常任委員会出席（野村常務理事）
3日：第19回日本脳死・脳蘇生学会一般口演にて発表（事務局）
5日：献眼があった。（黒部市）
7日：献眼者のご葬儀に参列（常務理事・事務局）
9日：上原様、下条様喜寿を祝う会にて寄付金を頂いた。（理事長出席）
10日：ライオンズクラブ334-D地区キャビネット四献研修会出席（於高岡会場）（事務局）
12日：ライオンズクラブ334-D地区キャビネット四献研修会出席（於福井会場）（事務局）
15日：厚生連高岡病院院内コーディネーター連絡会出席（事務局）
県立中央病院院内コーディネーター連絡会（事務局）
19日：県立中央病院ICUスタッフ勉強会にて講演（事務局）
20日：砺波総合病院院内第2回研修会にて講演。（事務局）
献眼があった。（富山市）
22日：献眼者のご葬儀に参列（常務理事・事務局）
30日：富山赤十字病院臓器提供事例検討会出席（事務局）
- 7月 3日：献眼があった。（上市町）
5日：献眼者のご葬儀に参列（常務理事・事務局）
6日：監事高瀬氏により平成18年度中間期事業並びに中間期決算報告の監査を受ける。（於事務局）
11日：平成18年度第2回院内コーディネーター連絡会開催（於自遊館）
13日：県立中央病院院内コーディネーター連絡会（事務局）

- 18日：砺波総合病院院内第3回研修会にて講演。(事務局)
- 19日：ライオンズクラブ2R2Zガバナー公式訪問にて寄付金を頂いた。(本村副理事長出席)
- 21日：県立中央病院臓器移植委員会講演会開催(事務局出席)
- 24日：自民党福祉環境部会懇談会出席(高田理事長・本村副理事長・事務局)
- 25日：いきいきとやま健康と長寿の祭典担当者会議出席(事務局)
- 26日：厚生連高岡病院院内コーディネーター連絡会出席(事務局)
- 28日：第29回全国アイバンク連絡協議会出席(於東京フォーラム)(役員4名)
平成18年度富山県脳死下臓器提供に関わる関係団体の連絡会議出席(事務局)
ライオンズクラブ1R2ZC就任記念チャリティゴルフ大会にて寄付金を頂いた。(岡本常務理事出席)
- 8月 1日：ライオンズクラブ2R1Zガバナー公式訪問にて寄付金を頂いた。(高田理事長出席)
- 2日：ライオンズクラブ奉仕銀行常任委員会出席(高田理事長)
- 4日：理事・評議員会開催(於全日空トヤマホテル) 広報委員会開催
- 21日：献眼があった。(南砺市)
- 22日：砺波総合病院院内第4回研修会にて講演。(事務局)
- 23日：献眼者のご葬儀に参列(常務理事・事務局)
ライオンズクラブ奉仕銀行評議員会出席(高田理事長)
厚生連高岡病院院内コーディネーター連絡会出席(事務局)
- 24日：県立中央病院院内コーディネーター連絡会(事務局)
- 9月 1日：15周年記念事業実行委員長会開催(於自遊館)
- 5日：ライオンズクラブ2R3Zガバナー公式訪問にて寄付金を頂いた。(大黒副理事長出席)
- 6日：富山東ライオンズクラブ例会にて講演。(大黒副理事長)
献眼があった。(富山市)
- 8日：献眼者のご葬儀に参列(常務理事・事務局)
- 9日：黒部ライオンズクラブ認証45周年記念式典にて寄付金を頂いた。(高田理事長出席)
- 12日：平成18年度第3回院内コーディネーター連絡会開催(於自遊館)
- 13日：黒部市民病院にてエンゼルメイク講演会開催(事務局)
- 14日：県立中央病院院内コーディネーター連絡会(事務局)
- 15日：県立中央病院臓器移植委員会出席(事務局)
- 19日：砺波総合病院院内第5回研修会にて講演。(事務局)
- 24日：献眼があった。(滑川市)
- 26日：高岡市民病院院内コーディネーター連絡会出席(事務局)
- 27日：献眼者のご葬儀に参列(常務理事・事務局)
厚生連高岡病院院内コーディネーター連絡会出席(事務局)
- 29日：献眼があった。(砺波市)
- 10月 1日：献眼者のご葬儀に参列(辻理事・事務局)
- 9日：黒部総合運動公園にて啓発活動を行った。(黒部ライオンズクラブ主催)
- 10日：砺波総合病院院内第6回研修会にて講演。(事務局)
- 12日：ライオンズクラブ2R1Zゴルフ大会にて寄付金を頂いた。(大黒副理事長)
県立中央病院院内コーディネーター連絡会(事務局)
献眼があった。(富山市)
- 15日：献眼者のご葬儀に参列(常務理事・事務局)
第1回ふくおか健康づくりとボランティアの集いにて啓発活動を行った。(事務局)
- 16日：高岡市民病院院内コーディネーター症例検討会出席(事務局)
- 17日：富山大学附属病院臓器移植委員会会議出席(事務局)
- 19日：平成19年度予算要望に対する自民党富山県連政務調査会六部会に出席(本村副理事長・岡本常務理事)
- 23日：献眼があった。(富山市)
- 24日：砺波総合病院院内第7回研修会にて講演。(事務局)
- 25日：献眼者のご葬儀に参列(常務理事・事務局)
厚生連高岡病院院内コーディネーター連絡会出席(事務局)
- 11月 1日：富山西ライオンズクラブ認証35周年記念式典にて寄付金を頂いた。(高田理事長出席)
- 2日：献眼があった。(高岡市)
- 4日：献眼者のご葬儀に参列(常務理事・事務局)
- 8~9日：いきいきとやま健康と長寿の祭典にて啓発活動を行った。(事務局)
- 9日：県立中央病院院内コーディネーター連絡会(事務局)
献眼があった。(富山市)
富山平成ライオンズクラブ認証15周年記念式典にて寄付金を頂いた。(高田理事長出席)
- 10日：県立中央病院救急センター職員へのエンゼルメイク講習会開催(事務局)
- 11日：富山ライオンズクラブ認証50周年記念式典にて寄付金を頂いた。(井村名誉理事出席)
献眼者のご葬儀に参列(常務理事・事務局)
- 14日：平成18年度第4回院内コーディネーター連絡会開催(於自遊館)
- 19日：新湊かにかにまつりにて啓発活動を行った。(新湊ライオンズクラブ)
- 20日：高岡市民病院院内コーディネーター症例検討会出席(事務局)
- 21日：砺波総合病院院内第8回研修会にて講演。(事務局)
- 23日：富山雷鳥ライオンズクラブ認証35周年記念式典にて寄付金を頂いた。(高田理事長出席)
- 24日：厚生連高岡病院院内コーディネーター連絡会出席(事務局)
- 25日：大山ライオンズクラブ認証35周年記念式典にて寄付金を頂いた。(高田理事長出席)
- 29日：JATCO研究会にて発表を行った。(事務局 於新瀧)
- 30日：あさひ総合病院にてエンゼルメイク講習会開催(事務局)
- 12月12日：砺波総合病院院内コーディネーター勉強会出席。(事務局)
富山セントラルライオンズクラブ例会にて講演。(岡本常務理事)
- 20日：理事・評議員会開催(於富山第一ホテル)
- 22日：厚生連高岡病院院内コーディネーター連絡会出席(事務局)
- 31日：献眼があった。(魚津市)

平成18年度収支計算書

(自平成18年1月1日～至12月31日)

(単位：円)

科 目	決 算 額		決 算 額
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
① 基本財産運用収入	42,703		
基本財産利息収入	42,703		
② 特定資産運用収入	7,131		
特定資産利息収入	7,131		
③ 会費収入	1,635,000		
賛助会員会費収入	1,635,000		
④ 事業収入	2,400,000		
角膜幹旋手数料	2,400,000		
強膜幹旋手数料	0		
⑤ 補助金等収入	6,123,713		
富山県補助金収入	1,350,000		
日本アイバンク協会助成金収入	1,400,000		
LC奉仕銀行助成金収入	2,500,000		
日本郵政公社配分助成金	873,713		
⑥ 寄付金収入	5,675,808		
寄付金収入	5,144,155		
募金収入	531,653		
⑦ 雑収入	14,527		
受取利息収入	232		
その他の収入	14,295		
事業活動費収入計	15,898,882		
2. 事業活動支出			
① 事業費支出			
募集登録費	832,538		
旅費交通費	194,030		
印刷製本費	108,600		
通信運搬費	529,908		
連絡調整費支出	1,058,029		
諸謝礼	149,355		
旅費交通費	326,170		
印刷製本費	12,600		
器具消耗費	424,534		
器具消耗費(血液検査用)	145,370		
眼衛生思想普及啓発費支出	3,065,247		
募金費	0		
印刷製本費	1,256,250		
事務消耗品費	868,770		
広報費	295,040		
旅費交通費	40,770		
研修費	138,297		
研究助成金	300,000		
感謝状伝達費	166,120		
特別啓発事業費	0		
その他の支出	256,138		
弔慰費	150,000		
雑費(振込手数料)	55,777		
雑費(その他)	50,361		
事業費 小計	5,211,952		
② 管理費支出			
諸給与支出	4,010,088		
給与手当	3,500,000		
福利厚生費	510,088		
事業活動支出計			
事業活動収支差額			
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
① 特定資産取崩収入	0		
特別啓発事業引当資産取崩収入	0		
投資活動収入計	0		
2. 投資活動支出			
① 基本財産取得支出	0		
基本財産資産取得支出	0		
② 特定資産取得支出	2,250,000		
第3回県民大会引当資産取得支出	1,500,000		
退職給与引当資産取得支出	250,000		
減価償却引当資産取得支出	250,000		
特別啓発活動引当資産取得支出	250,000		
③ 固定資産取得支出	1,324,026		
什器備品購入支出	1,324,026		
投資活動支出計	3,574,026		
投資活動収支差額	3,574,026		
III 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
① 借入金収入	0		
財務活動収入計	0		
2. 財務活動支出			
① 借入金返済支出	0		
財務活動支出計	0		
財務活動収支差額	0		
IV 予備費支出			
当期収支差額	2,188,079		
前期繰越収支差額	1,501,712		
次期繰越収支差額	3,689,791		

賛助会員ご加入のお願い

アイバンクは、角膜疾患によって目の不自由な方のために献眼者の募集と移植希望者の募集等の事業を行っています。設立以来の献眼登録者は、平成19年3月現在で約18,982名となっており、また、平成19年3月現在までに290名の方が移植手術を受け、視力を回復しておられます。『明日に明るい愛』を合い言葉に一人でも多くの方に光のプレゼントができるよう努力しています。しかし、年間の事業の運営を円滑に行うには多額の資金が必要となり、この事業費は基本財産の運用収入のほか賛助会員費、寄付金収入を主なる財源として充てております。皆様の格別のご理解ご協力をお願い申し上げます。

賛助会費

団体・法人会員	年会費	1口	10,000円
個人会費	年会費	1口	3,000円

賛助会員のご加入は、銀行口座振替をお願いしています。
または、同封の振込用紙にてお振込ください。

〒930-0194 富山市杉谷2630

財団法人 富山県アイバンク事務局

TEL (076)434-5710/FAX (076)436-0146

富山アイバンクホームページ開設

ホームページ <http://www.toyama-eyebank.com>

E-mail info@toyama-eyebank.com

編集後記

20世紀半ばに日本で誕生したライオンズクラブも早いもので半世紀をすぎて3,400余のクラブ、そして12万人余の会員を擁する日本最大のボランティア組織になりました。

その間日本におけるボランティア活動も様々な形で推移してまいりました。

ライオンズクラブでのボランティア活動の重点への足がかりとなったのはアメリカ、オハイオ州におけるヘレン・ケラー女史の視覚障害者に対する「闇に光を！」という有名な言葉がその後のライオンズ活動となったと聞いております。

主なアクティビティをみると「視覚障害者」「糖尿病」「聴覚、言語障害者」「環境保全」「青少年育成」「福祉」等々日本は勿論のこと全世界で「ウィサーブ」の旗標のもとに頑張っております。

特に富山県におけるアイバンク活動は全ライオンズクラブの強力な後押しと県民による努力によって今年は結成15周年を迎えることが出来ました。

しかしながら今もって「角膜移植、臓器移植」等については、普及が難しい部分もあります。日本人の心身一体の精神がそうさせるのかも知れませんが、日本人が古来言いならわしている「身体髪膚これ父母に受く、敢えて毀傷せざるは孝の始めなり」という諺が重んじられる向きがあり、四献運動の難しさがそのあたりにあるかと思えます。

これからもアイバンクの活動が十二分に発揮出来ますよう毎月の諸機関紙をご家族をはじめ周辺の方々へPRされんことをお願い致します。

6月16日(土) 富山県民会館大ホールにて設立15周年記念大会を実施致します。

皆様揃ってのご参加をお待ち申し上げます。

献眼は

「人生における最後の、そして最大のボランティア活動でございます」

(理事) 渡部 佐敏

★広報委員

牧 亨	寺崎 達二
清水 英子	渡部 佐敏
辻 章	宮岸 武
戸田 昭一	原 外男

第13号 平成19年6月1日

発行

財団法人 富山県アイバンク

富山市杉谷2630

TEL (076) 434-5710

発行人 高田 眞